



通学路の安全対策について

立憲民主えびな 相原 志穂



脱炭素社会実現に向けて 子どもの居場所について

いのちの会 つづ木 みゆき



障がいがあつてもあたりまえに 暮らせるための支援について

無会派 吉田 みな子



問 横断歩道が消えてしまっている所、歩道が途中でなくなってしまっている所、ガーデレールのない所、住宅街の車の抜け道が通学路になってしまっている所など、さまざま不安の声をお聞きしますが、通学路の危険個所についてどのような取り組みがなされているかお伺いします。

答 (市長) : 警察に予算がないのであれば、市が横断歩道を引くことも考えましたが、地方財政法の壁があり不可能です。しかし、海老名警察署管内で交通事故も増えており、ここも大きな問題があると考えますので、市としてできることはやつていき、県にもしっかりと要望をしてまいります。

答 (教育長) : P.T.A.や地域からは通学路改善要望をいただき、市は登下校時に青パト車でパトロールを行ったり、立哨員の配置もしています。学校として計画を立て、対策を続けることとともに、例えば横断歩道は子どもたちだけではなく市民も歩くので、市の安全対策という立場で行政、保護者、地域の方と一緒にになって今後取り組んでいきたいと考えています。

問 改善要望締切後に追加があつた場合について伺います。

答 (教育部長) : 緊急を要する場合は学校から連絡をいただき速やかに対応してまいります。

その他の質問

- ・各種相談事業について
- ・小中学校の防犯対策について

問 地球温暖化の防止のためには、市民や事業者がどのようなことに取り組むべきなのか。省エネ、再エネに向けての具体的な取り組みについて伺います。

答 (経済環境部次長) : 本市の地球温暖化対策は、令和2年に改定した「海老名市地球温暖化対策実行計画」に基づき推進しています。CO₂排出抑制に向けた、具体的な取り組みとしては、環境配慮設備である太陽光発電施設、定位用リチウムイオン蓄電池、エネファーム、HEMS、電気自動車や燃料電池自動車の導入に対する補助事業を実施しています。また、市民への啓発事業としては、SDGsの普及啓発も兼ねた海老名SDGs環境マイレージ事業を令和3年8月から実施しています。

問 海老名市は「子どもの居場所」が少ないのでないかと言われています。民間の施設は費用が高く、費用負担のない市の教育支援教室「びなるーむ」に通えることが保護者としても希望するところだと思いますが、「びなるーむ」を増設するお考えはありますか。

答 (教育長) : 教育支援教室は、学校以外の場所でその子の自立に向けての支援を行うところで、小・中学生が通っています。また、現状としては、小学生の不登校が増えており、不登校の中で非常に課題となっているのが、特性のある子どもたちです。特性があることは悪いことではないのですが、その特性によって人とのコミュニケーションをうまく図れないことが不登校につながるような状況もあります。そのような子どもたちは特別なケアとか支援も必要な場合もあります。これからは、そのような子どもたちが対象の支援教室みたいなものを考える必要があると思いますので、びなるーむの拡大などについては十分検討してまいりたいと考えております。

その他の質問

- ・今後の保育園・子育て支援のあり方について

問 障がいがあることで、入浴が当たり前にできない実情がある中で、当事者家族の方から年末年始に入浴支援が受けられないことの悲痛なご意見をいただきました。この現状を何とかしなければなりません。まずは、年末年始の入浴支援の現状と課題についてお伺いいたします。

答 (保健福祉部次長) : 年末年始に訪問入浴サービスを提供しているのは1事業者のみで、希望通りの入浴が難しいことが課題です。年末年始も含め訪問入浴のあり方について障がい者団体などの意見もいただきながら、実施可能な事業所に対して本市への登録を働きかけています。

問 事業所に休日や年末年始もサービスを提供していただけるよう、休日加算や年末年始加算をつけることが必要と考えますがいかがでしょうか。また、市の施設である「障害者支援センターあきば」「わかばケアセンター」で、希望する方が入浴できるよう年末年始もあけることや、「あきば」で年末年始もショートステイが利用できることを案内する必要もあるとお考えます。当事者の方々へのアンケート実施についてもお考えをお聞かせください。

答 (保健福祉部次長) : 市が独自に加算することや「あきば」や「わかば会館」で年末年始の入浴支援を実施する予定は現在ありませんが、障がい者団体などの当事者やサービス提供事業所から意見収集したいと考えています。ショートステイは目的を問わず利用可能です。アンケートは、障がい者福祉計画第6期の策定時に実施し、事業に反映しましたが、その進行管理の場でも意見を伺っていきます。

